



かわまちづくり×Park-PFI×河川のオープン化 わたらせリバープラザ(足利市)

群馬県 県土整備部 都市計画課

取材協力 栃木県足利市 都市建設部 市街地整備課

■ はじめに

公共空間を活用したまちづくりは色々な事例が生まれていますが、その中でも、河川空間の利活用はあまり進んでいないのではないのでしょうか。群馬県では、代表的なものとして「みなかみ町かわまちづくり計画」が平成31年3月に登録されて以降、新たな「かわまちづくり」計画の登録は進んでいない状況があります。

そのような中、群馬県にもゆかりのある渡良瀬川を使った「かわまちづくり」を栃木県足利市が進めているとの情報を入手しました。

「五十部・岩井地区かわまちづくり」計画により整備され、12月1日にオープンしたばかりの「わたらせリバープラザ」について、まっちゃん〜ずで取材してきました！



写真1 わたらせリバープラザ正面入り口は、テラスシート兼サイクリストの休憩所です。

■ 「足利市のかわまちづくり(「五十部・岩井地区」)について

足利市は、一級河川渡良瀬川を対象に、「かわまちづくり」計画を策定しています。この計画では、渡良瀬川の河川空間を活用したサイクルツーリズムや「都市・地域再生等利用区域」指定を活用した「まちなかにおける憩いの場の創出」などに取り組むこととしています。

この区域に指定されることにより、民間事業者も含めて、飲食店・売店・オープンカフェなどの営利施設について占用許可を受けることができるようになります。(河川空間のオープン化)

足利市は、このオープン化した区域で、公募設置管理制度(Park-PFI)による民間事業者のノウハウを活用した「わたらせリバープラザ」を誘致しました。

■ わたらせリバープラザについて

「わたらせリバープラザ」は、足利市が「市民・観光客の活動・飲食拠点」や「サイクリングの滞在拠点」であることを目指して公募し、法人グループ「コネクトわたらせ」が整備した「多機能型まちの駅」です。

施設内には、足利市のご当地バーガーを販売する「ASHIKAGA RIVASABURGER」や足利市の商品を中心としたご当地自販機、子供たちが職業体験できる「ヒラメKids」、eスポーツが体験できる「LOTTA」など、民間事業者が創意工夫を凝らした魅力的な施設が整備されています。



写真2 ハンバーガー屋さん。残念ながら定休日でした…

実際には、美味しいハンバーガーが食べられます！
(是非食べたい!!)



写真3 自販機にはマグロの刺身も!?



写真4 eスポーツ設備も充実していました!

■ 工夫したところ

足利市さんに話を聞いたところ、「かわまちづくり」はこれまでも進めてきており、国土交通省渡良瀬川河川事務所とも良好な関係を築けていたことから、河川事務所との協議には苦労はほとんどなかったとのことですが、Park-PFIについては、全くのゼロベースでとても苦労したとのこと。 (河川事務所との協議が一番難航しそうですが、そこを軽く突破しているのは足利市のすごいところですね!)

そのため、公募要領の作成に当たっては、群馬県のPark-PFI事例を参考にしたとのこと。ただ、様々な事例を研究し、議会等への説明も丁寧に進め、現在の公募要領を作り上げたとのことでした。

また、公募前にはマーケットサウンディングを行い、何と6社が参加してくれたとのこと。そのため、市場性があるかを十分に検討の上、公募に着手できたとのこと。

コロナ禍ということで相当厳しいスタートだったとのことですが、その苦労の分、現在はとても素晴らしい施設ができていると思います。

渡良瀬川流域の方だけでなく、Park-PFIの事例としても参考になるかと思うので、是非とも一度は遊びに行ってください!

最後に、取材に協力していただきました足利市役所の皆様、コネクトわたらせの担当者様、お忙しい中、ご協力ありがとうございました。